
プログラム

12月12日(土) Web 講演会場

9:30～ 開会挨拶

小柳 泉(第37回日本二分脊椎研究会 会長)

9:40～10:45 シンポジウム1「**脊髄脂肪腫の病態と治療を考える**」

座長 朴 永銖(奈良県立医科大学 脳神経外科 兼 小児医療センター)

関連演題「**係留脊髄**」

S1-1 Occult tethered cord syndrome の2症例

原 毅 順天堂大学 脊椎脊髄センター

S1-2 手術治療を行った成人終糸脂肪腫の5例

千葉 泰弘 北海道脳神経外科記念病院 脳神経外科

シンポジウム演題

S1-3 脊髄脂肪腫の病型と手術, 予後

吉藤 和久 北海道立子ども総合医療・療育センター 脳神経外科

S1-4 自然歴と治療成績からみた脊髄終糸脂肪腫の手術適応の検討

栗原 淳 埼玉県立小児医療センター 脳神経外科

S1-5 腰仙部皮膚変化を主訴とする症例の潜在的な膀胱機能障害に関する検討

安藤 亮 千葉県こども病院 脳神経外科

10:55～11:50 シンポジウム2「**開放性二分脊椎の急性期治療の現状と今後**」

座長 吉藤 和久(北海道立子ども総合医療・療育センター 脳神経外科)

関連演題「**発症機序**」

S2-1 神経管形成モデル細胞における葉酸の Wnt シグナル伝達系

野中 康臣 平和病院 脳神経外科 横浜脊椎脊髄病センター

シンポジウム演題

S2-2 開放型脊髄披裂に対する基本手術(McLone's 5 layers closure)とひと工夫が

患者の将来を変える! —成人移行期に達した症例から—

内門 久明 医療法人ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック

S2-3 北海道の「北の砦」となる当施設での開放性二分脊椎に対する治療

上森 元気 旭川医科大学 脳神経外科

S2-4 症候性キアリ2型奇形の臨床的特徴と手術方法の検討

大森 義範 北海道立子ども総合医療・療育センター 脳神経外科

11:50～12:00 次期会長挨拶

12:00～13:00 Lunch Break

13:00~13:50

会長講演 「係留脊髄の病態」

座長 阿部 弘 (医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院 名誉顧問)

演者 小柳 泉 (第37回日本二分脊椎研究会 会長/医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院 院長)

14:00~14:40

一般演題1 「成長期・成人期の諸問題」

座長 橘田 岳也 (北海道大学病院 泌尿器科)

○1-1 成人二分脊椎患者の受診状況

伊藤 弘紀 愛知県医療療育総合センター中央病院 整形外科

○1-2 二分脊椎を知る… 一今の時代の超慢性期の現状からみた二分脊椎の課題と再考治療方針一

高橋 義男 とまこまい脳神経外科、岩見沢脳神経外科、大川原脳神経外科病院、別海町立病院、
にわとりファミリー 小児脳神経外科

○1-3 脊髄髄膜瘤患者におけるS状結腸利用膀胱拡大術後長期の腎機能の検討

有井 瑠美 順天堂大学医学部 小児外科・小児泌尿生殖器外科

○1-4 二分脊椎症児と養育者が協働する排泄管理の特性

川原 妙 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生命育成看護科学講座

14:50~15:20

一般演題2 「下肢機能障害への対応」

座長 藤田 裕樹 (北海道立子ども総合医療・療育センター 整形外科)

○2-1 距骨下関節を温存する踵骨骨切り術と踵立方関節短縮固定術の併用 二分脊椎高度内反足の1例

小松 繁允 宮城県立こども病院 整形外科

○2-2 踵骨過回内により独歩不安定性を生じたS1レベル脊髄髄膜瘤児へ 装具を作成した一例

小松加代子 茨城県立こども病院 リハビリテーション科

○2-3 二分脊椎患者の移動機能と装具治療について

田中 弘志 心身障害児総合医療療育センター 整形外科

15:30~16:10

一般演題3 「排泄管理・社会生活」

座長 三井 貴彦 (山梨大学大学院総合研究部 泌尿器科学講座)

○3-1 小児専門病院におけるペリスティーンアナルイリゲーションシステムの導入

野々山奈布 あいち小児保健医療総合センター 外来

○3-2 女性二分脊椎者の更年期と加齢に関する調査報告

道木 恭子 帝京平成大学 ヒューマンケア学部看護学科

○3-3 親が子どもに行う二分脊椎症に関する説明 一二分脊椎男性の親への調査から一

笠井 久美 茨城県立医療大学 保健医療学部看護学科

○3-4 二分脊椎者の性教育に関連する研究の動向

笠井 久美 茨城県立医療大学 保健医療学部看護学科

16:10~ 閉会挨拶

小柳 泉 (第37回日本二分脊椎研究会 会長)